

5. 冬の万葉植物(旧暦10月-12月)

ヤマボウシ 山法師



2023年11月1日撮影 あけぼの公園

つみ 柘

卷3-387 若宮年魚麻呂

いにしへに
築うつ人の
なかりせば
ここにもあらまし
柘の枝はも

ノギク 野菊 説あり
後方:しりへ



ももよぐさ 百代草

万葉集 卷20-4326 壬生部足国
(みぶのたりくに:現静岡掛川の防人) :

父母が
殿の後方の
百代草
百代いでませ
我(わ)が来るまで

2023年11月16日 玉川上水陣屋橋周辺

常緑松柏類の総称
画像はコノテガシワ 児の手柏

かへ:かわらないが語源、長寿、めでたい



2023年11月22日 桜堤公園付近

かへ 栢

卷19-4169 大伴家持:

(長歌)

ほととぎす

きなへさしきい

...

松栢(かへ)乃

さかえいまさね

たふときあがきみ

現代名 ツタ一般 葛

つづら 都豆良

卷14-3434 作者不明:



2023年11月22日 桜堤

上毛野(かみつけ)の
阿蘇山(やま)都豆
良(つづら)
野を広み
延(は)ひにしものを
何(あぜ)か絶えせむ

カクレミノ 隠蓑

みつながしは 御綱葉

卷2-90の後記 作者不詳



…皇后紀伊国(きい
のくに)に遊行(いで
ま)して
熊野の岬に到りて
其処の御綱柏(みつな
がしは)を取りて
還(まゐるかへ)る…

2023年11月22日 桜堤公園付近

コノテガシワ 兎の手柏

このてがしは **兎手柏**

卷16-3836 消奈行文(せなのぎょうもん):



2023年11月22日 桜堤公園

奈良山の
兎手柏(このてがし
は)の
両面(ふたおも)に
かにもかくにも
佞人(こびびと)の伴

ヤマウルシ 山漆

説有り



はじ 波自

巻20-4465 集中1首だけ

（長歌）
久方の
天の門開き
波自弓き

2023年11月29日 上水くぬぎ橋東側

現代名 シバ 芝

雑木説も有り



2023年11月29撮影 境橋

しば 之波

卷14-3573 東歌 作者不詳

あしひきの
山かづらかけ
ま之波にも
得がたきかけを
置きや枯らさむ

サカキ 榊



2023年12月7日撮影 桜堤団地
写真はヒサカキ

さかき 賢木

卷3-0379 坂上郎女 :

(長歌)
ひさかたの
天の原より
生れ来る(あれきた
る)
神の命(みこと)奥山の
賢木の枝に
しらか付け
木綿(ゆふ)とりつけて
いはひくき。。

ミツマタ 三又



2023年12月7日撮影 桜堤団地中央公園

さきくさ 三枝

卷10-1895 柿本人麻呂

春されば
まづ三枝の
幸(さき)くあらば
後(のち)にも逢わむ
な恋ひそ我妹(われ
ぎも)

現代名 アケビ 木通
説有り



2023.12.12 梶野橋付近

さのかた 狭野方

巻10-1929 作者不明

狭野方は
実になりしき
今さらに
春雨降りて
花咲かめやも

現代名 ヤブコウジ 藪柑子 やまたらばな 山橘

卷19-4226 大伴家持



この雪の
消(け)残る時に
いざ行かな
山橘の
実の照るも見む

2023年12月12日撮影 玉川上水梶野橋周辺

現代名 スギ・ヒノキ類、榎
画像はヒノキとイヌマキ

真の木の意、神聖視された



ヒノキ 2020年7月23日 玉川上水周辺

イヌマキ 2023年12月22日 山中南公園

まき 真木

巻3-0190 舎人(下級役人):

真木柱
大き心は
ありしかど
この我が心
鎮めかねつも

現代名：ケヤキ 欒
画像はムサシノケヤキ



2023年12月23日撮影 もみじ橋

つき 槻

万葉集 卷3-0277 高市黒人：

遠(と)く来ても
見てましものを
山城の
高の槻群
散りにけるかも

現代名 カラタチ 枳殻

原産地 長江流域

名前:外国のたちばな(柑橘類)
に由来、この一首だけ



2023年12月26日 曙公園付近

からたち 枳

卷17-3832 大忌部首(いむべのおびと):

枳と
後(うばら)刈り除
け
倉建てむ
屎遠くまれ
櫛造る刀自(とじ)

現代名 ノキシノブ 軒忍
説有り

しだくさ 子太草

卷11-2475 柿本人麻呂歌集



我が宿の
軒に子太草
生いたれど
恋忘れ草
見れどいまだ
生いず

2022年2月21日 撮影 桜堤公園

•以上 110種

6. 終わりに

植物の**色形**と**香り**、風にそよぐ**音**と**動き**の**リズム**は万葉時代と同じです。

この冊子で植物の**色形**と**歌**を見比べて、伝統的な感覚が少し蘇ったと思います。

実際に散策して、漂う**香り**と風にそよぐ**動き**や**音**で更に深い感覚を蘇らせましょう。



画像探索中)

•7首

•水草 数種

地図 ©2023 Google

スギ 杉

現在は日本固有種

画像探索中、
以前はスギ林が
あった。

すぎ 杉

万葉集 卷10-1814 柿本人麻呂：

いにしへの
人の植ゑけむ
杉が枝(え)に
霞たなびく
春は来(き)ぬらし

現代名 ネコヤナギ 猫柳

かはや(な)ぎ 河楊

川べり

巻10—1848 作者不明

画像探索中、
以前周辺で見か
けた

他に、ネジバナ、ケイトウ、
ベニハナなど画像準備中、
時季に周辺で見かける

山の際に
雪は降りつ
しかすがに
この河楊(やぎ)
は
萌えにけるかも

現代名 ヤナギ 柳

やなぎ 柳

川べり

10-1846 作者不明



2024年1月5日 吉祥寺
大通り（柳橋にもあった）

霜枯れの
冬の耶馬儀は
見る人の
かづらにすべく
萌えにけるかも

地図 ©2023 Google

現代名 モミ

万葉表記 おみ 臣木

日本特産

卷3-322 山部赤人



2023年12月27日 吉祥寺通り

すめろきの
：
匠の木も
：
生ひ継ぎにけり

地図 ©2023 Google

現代名 ベニハナ

紅の染料、花は黄色

画像探索中、
以前周辺で見か
けた

ベニハナ

くれない 紅

巻6-1044 作者不明

紅に
深く染みにし
心かも
奈良の都に
年の経ぬべき

現代名 ケイトウ 鶏頭 説
有り

万葉表記 からあい 韓藍

3-384 山部赤人

画像探索中、
以前周辺で見か
けた

ケイトウ

我がやどに
韓藍蒔き生し
枯れぬれど
懲りずてまた
も
蒔かむとぞ思ふ

地図 ©2023 Google

現代名 ネジバナ 捩じ花
説有り、翁草説も

ねっこぐさ 根都古具佐

卷14卷-3508

画像探索中、
以前周辺で見か
けた

芝付の
御宇良崎なる
根都古具佐
あひ見ずあら
ば
吾恋ひめやも

おわり